

心晴れ晴れの一日

中司愛子（植野）

せんだって高知の県民ホールへ行くために電車を待っていたところ、昔なつかしいチンチン電車がやってきました。ときどき見かけることはありましたが、乗る機会もなく、珍しさいっぱいで乗ったところが、なんと車掌さんが「まんざい」そのもの。とってもおもしろくおかしく、次から次へと話

題を変え、それがあまりにもユーモアたっぷりなので、抱腹絶倒であり、県庁前で下車するのが残念でした。やはりこれは観光電車として走っているのでしょうか。若いのにこしたおもしろい車掌さんで、ほんとに楽しかった。クヨクヨしている人は一度チンチン電車に乗ってみてはいかがと言いたくなります。

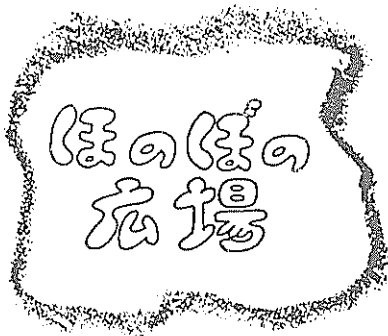


中司愛子さん

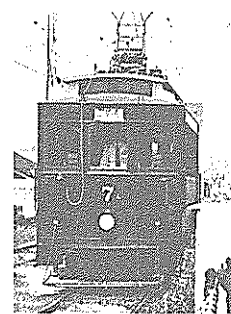
また、県民文化ホールでは、水上勉氏原作の演劇「越前竹人形」が有馬稲子さんの主演で上演されとても感動しました。人間が追いつめられ、全く自分を見失ってしまったときに、名も知らぬ貧しい渡し船の老いた船頭が人の世の悲しみと苦しみにあえぐ女の心を感じ

『ほのぼの広場』に、あなたの身の回りのほのぼのとした話題や我が家の自慢料理、読書の感想など、お気軽にご投稿ください。

▼投稿先・〒783 南国市大浦甲一三〇一 南国市役所内広報委員会まで。



じ取って、淡々として救い上げていく場面に涙しました。有馬稲子さんの演技もまた抜群でした。帰りにまた電車に乗ったところ、大橋通りからかなりお年寄りのおばあさんが乗ってこられました。私は足のひざが痛かったので、代わってあげたいけどできず、隣に座っていた高校生の女の子に「あなたすまないけどこのおばあちゃんにお席を代わってあげてくれない」と言うと、気持ちよく「ハイ、どうぞかけてください」と言っていてこにこして立ってくれました。



かわいい優しそうなお嬢さんでした。小さな親切がどんなに大きな安らぎを与えてくれるものか、その日一日私はほのぼのと楽しい気持ちで帰りました。忘れぬ心の糧となりし日よ車窓に春の陽はあたたかく

○図書館から○

読書会に参加しませんか

市立図書館で読書会を始めます。幼い時の記憶に残る絵本や童話、今自分の子供たちが夢中で読んで

いる本、子供たちに読んでほしいと願う本、そんな本をみんなで読んで、感じたことを気軽に話し合ってみませんか。子供の本を仲立ちにした気楽なおしゃべり、ぜひ参加してください。

第一回は七月二十五日(中)、灰谷健次郎さんの「兎の眼」を読みます。図書館に十冊用意します。第二回からは、参加者の希望で本を決めます。

○日時・毎月第四土曜日 午後二時～四時

○場所・南国市立図書館二階

○代表者・三宮恵(物部)

○申し込み先・市立図書館(〒783 南国市東崎一三五五―一七)

☎0469

【市立図書館】



ご家庭で話し合って答えてください。答えはこの広報に出ています。

■もんだい・火鎮祭相撲大会のわんぱく相撲で、〇〇小学校Aチームが団体優勝しました。

■しめきり・6月15日

■あて先・〒783 南国市大浦甲一三〇一 南国市役所内広報委員会親子クイズ係

■答えのハガキには必ず、住所、氏名、年齢、職業を書いてください。

■賞品・正解者のなかから抽選で五人に図書券を進呈。

第182回当選者発表(敬称略)

(応募総数47通)

■答え・①会館

■当選者

久万卓男(福生)

土居洋平(市市)

藤沢芳子(立田)

水田勝久(久礼田)

山本スミ(岡豊町定林寺)